

## 「基金運用を通じた ESG 投資」を実施

～阪神高速道路株式会社が発行する「サステナビリティボンド」を購入しました～

直方市(直方市長 大塚 進弘)は、2030年までのSDGs達成の為に「基金運用を通じた ESG 投資」の一環として、2024年10月17日(木)に阪神高速道路株式会社が発行するサステナビリティボンドを購入いたしました。

【URL】[https://www.city.nogata.fukuoka.jp/shisei/\\_1236/\\_13302.html](https://www.city.nogata.fukuoka.jp/shisei/_1236/_13302.html)



### 実施内容

基金の運用を通じてSDGsの推進に貢献するため、2024年10月17日(木)、阪神高速道路株式会社が発行するサステナビリティボンド(※1)を購入しました。本市が同社のサステナビリティボンドを購入するのは、今回が初めてとなります。

本債券の発行による調達資金は道路建設等事業に充当され、我が国の環境的・社会的課題の解決に貢献します。また、SDGsの内、「3.すべての人に健康と福祉を」、「7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「8.働きがいも経済成長も」、「9.産業と技術革新の基盤をつくろう」、「11.住み続けられるまちづくりを」、「12.つくる責任 つかう責任」、「13.気候変動に具体的な対策を」の達成にも貢献します。

(※1) 環境的課題と社会的課題の両方の課題の解決に資するプロジェクトの資金調達のために発行される債券のことであり、ESG(※2)投資の対象となります。

(※2) ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと。資金の用途によりグリーンボンド・ソーシャルボンド・サステナビリティボンド等に分かれます。

### 取組に至った背景

本市では地方自治法の趣旨を踏まえ、基金の一部を活用し、安全性の確保を第一に効率性も考慮した債券運用に取り組んでいます。また、本市は、2022年5月に内閣府より「SDGs未来都市」に選定されるとともに、国連の持続可能な開発目標(SDGs)と同じく2030年を目標期限とする第6次直方市総合計画において『未来へつなぐ～ひと・まち・自然～』を都市将来像として掲げ、持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

その取組の一環として、環境改善や社会貢献に寄与する事業を資金使途とする ESG 債(グリーンボンド・ソーシャルボンド・サステナビリティボンド)への投資を行うことで持続可能な社会の形成に寄与し、社会的使命・役割を果たすとともに、購入の際には投資表明を行い、対外的に公表します。ESG 債の発行によって調達された資金は、事業への充当を通じて SDGs の達成に貢献するものとなっています。

## **阪神高速道路株式会社について**

### **【法人概要】**

法人名: 阪神高速道路株式会社

所在地: 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島三丁目2番4号

代表者: 代表取締役社長 吉田 光市

設立: 2005 年(平成 17 年)10 月 1 日

URL: <https://www.hanshin-exp.co.jp/company/>

事業内容: 高速道路事業、国・地方公共団体等からの委託による道路の建設・管理・調査等

### **【本リリースに関する報道お問い合わせ先】**

直方市 会計課 会計係 担当: 武内

TEL: 0949-25-2102

e-mail: n-kaikei@city.nogata.lg.jp